

山形県 公立高校の入試制度

【2024年度版】

選抜概要

- 山形県の公立高校入試は、推薦と一般の2回選抜を行います。

	出願期間	入試日	合格発表日
推薦	1/19(金)~25(木)	2/2(金)	2/9(金)
一般	2/16(金)~22(木)	3/7(木)・8(金)	3/17(日)

- 出願は、原則1校1学科に限ります。
一般選抜においては、2つ以上の学科がある学校の場合に限り、第3志望まで認められます。
- 普通科、理数科及び探究科の通学区域は原則として、東学区・北学区、南学区、西学区の3つに分かれています。職業に関する学科・体育科・音楽科・総合学科は全県1学区とし、いずれの高校にも志願することができます。

推薦選抜

- 推薦選抜は、当該学科の学習に対する強い志望があり、目的意識が明確・適切で、学科に対する適性・興味及び関心を持ち、各学校が定める出願要件を満たしている者を対象とした選抜です。
実施可能な学科は、職業に関する学科、理数科、体育科、音楽科、総合学科、普通科（小規模校）となっています。

- 募集人員は学科により募集可能な範囲が異なります。
 - ・職業に関する学科、理数科、総合学科、普通科（小規模校）
…定員の30%以内
 - ・音楽科… 60%程度
 - ・体育科… 80%程度

●選抜内容

全学科	面接(必須)、学校の裁量で基礎学力検査・作文・実技などを実施できる
体育科	適性検査：体力診断テスト(3種目)、陸上・水泳等12種目から1種目を選択
音楽科	適性検査：新曲視唱、声楽・器楽のいずれかを選択

面接の際に自己推薦書・自己申告書などの書類を用いることがあります。

- 選抜は、調査書・面接(及び適性検査)・実施する場合は作文・実技・基礎学力検査の結果を総合して行われます。

一般選抜

●選抜内容

学力検査	国語・数学・英語・理科・社会の5科（各50分・各100点） ・学校の裁量で、1教科又は2教科に1.5倍の傾斜配点を行うことも可能。
面接	学校によって必要に応じて実施することができる
適性検査 (体育科・音楽科のみ)	・山形中央（体育科） 体力診断テスト（3種目）及び 陸上競技・水泳・サッカー等の12種目から1種目を選択 ・山形北（音楽科） ア. 声楽 イ. 器楽のいずれかを選択

- 選抜は、調査書・学力検査(及び適性検査)の結果をもとに、各学校・学科の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性を判定して行います。

選抜方法

- 学力の総合段階及び調査書中の記載事項を主な資料として行います。

<学力の総合段階>

・調査書の評定（3年次9教科5段階）と学力検査の成績をそれぞれ500点満点に換算します。各高校が定めた調査書点と学力検査点の比率をそれぞれに乗じて算出した得点の和が合計得点となります。比率は次のいずれかとなります。

調査書：学力検査 = 3：7, 4：6, 5：5, 6：4, 7：3

【例】調査書：学力検査=4：6の場合

(評定45点満点)×500/45×0.4 + (学力検査500点満点)×0.6 =合計得点

・学力検査で1教科に傾斜配点がある場合

(評定45点満点)×500/45×0.4 + (学力検査550点満点)×500/550×0.6 =合計得点

・学力検査で2教科に傾斜配点がある場合

(評定45点満点)×500/45×0.4 + (学力検査600点満点)×500/600×0.6 =合計得点

・受検者の合計得点について、分布が連続しているとみなされる部分の最高と最低の間を等間隔に5段階に分けます。

・調査書中の1・2年次の評定、総合的な学習の時間の記録などその他の記載事項や、体育科・音楽科では適性検査の結果も考慮して合格者を決定します。